

留 学 報 告 書

記入日:2014年5月10日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科		
留学先国	カナダ		
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アルバータ大学 現地言語: University of Alberta		
留学期間	2013年8月～2014年4月		
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	人文科学学部		
帰国年月日	2014年4月25日		
明治大学卒業予定年	2015年3月		
留学先大学について			
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
学年暦	1学期:9月上旬～12月中旬 2学期:1月上旬～4月中旬		
学生数	37,000人		
創立年	1908年		
特徴	カナダ5大大学の1つ		
留学費用項目	現地通貨(カナダドル)	円	備考
授業料	8,000	800,000円	協定校留学のため明大の学費
宿舍費	5,000	500,000円	
食費	8,000	800,000円	カナダでは食費が高いです
図書費	1,000	100,000円	
学用品費	100	10,000円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	300	30,000円	
医療費	0	0円	
保険費	3,000	300,000円	形態:東京海上日動
渡航旅費	3,000	300,000円	
雑費	1,000	100,000円	
合計	29,400	2,940,000円	

渡航関連	
渡航経路: 成田 バンクーバー エドモントン	
渡航費用	
チケットの種類	JAL 留学生航空券(往復)
往路	_____
復路	_____
合計	260,000 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
JAL (JAL に直接電話することでのみ購入可能です)	
取得したビザについて教えてください。	
ビザの種類: Study permit	
ビザ取得方法: インターネットでの手続き(カナダ大使館での面接なし)	
その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。	
JAL の留学生航空券というオプションでは、往復のチケットが比較的安く買えます。また帰りの便も、電話により最大 2 回まで変更できるため便利です。	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
大学寮	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)	
3)住居を探した方法:	
インターネット	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私は Lister Centre というアルバータ大学最大規模の学生寮に滞りました。この寮にはカナダ人が多く、私のフロアの 8 割はカナダ人でした。またドッジボールなどの寮のイベントがかなり多く、活発な寮というイメージがあります。しかし、寮のイベントで問題が起こったため、しばらくイベント(ドッジボールを除く)は自粛される可能性があります。ですので寮を検討する際には、アルバータ大学に在籍している人などのブログを見つけ、確認する必要があります。	
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用した:すべての処置はアルバータ大学の保険が適用されたため、費用を払う必要がなかったです。	
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
SUB という建物の 2 階に様々な相談窓口があります。また友達に相談するのも良いと考えます。	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
危険地域は基本的にありませんが、ダウンタウンやバーやクラブがあるストリートは比較的危険といわれていました。これらの情報はすべて友達からの情報です。私自身、犯罪には巻き込まれませんでした。夜の 1 人歩きなどはなるべくないようにしました。	
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。	
(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
Lister Centre に住んでいる人は部屋では基本的に有線でネットを使っているため、接続は安定しています。また図書館などにも WIFI 接続が可能です。	

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？(例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
大方の支払いはクレジットカードで済ませましたが、クラブなどではキャッシュが便利のためある程度のキャッシュも持ち歩いていました。私は現地で銀行口座を開設しない代わりに、日本で JTB の Money TGlobal というカードを作りました。このカードにより、家族が日本から入金した金額を、カナダにいる私は ATM で引き出すことができたため、キャッシュがなくなることもありませんでした。	
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
電子辞書	
進路について	
1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：	
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
四季報、SPI 関連、みんな就(学生により投稿される就職活動情報)	
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	
これから就職活動をします。	
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)	
日本で就職活動が始まっている時期に、カナダにいる私は試験に追われる日々を過ごしていました。確かに不安はありますが、キャリア形成を焦る必要はないと考えますし、留学も自分の努力次第でとても意味のあるものになると思います。また異文化で生活する中で今まで考えてこなかった、自分はどんな人間なのかということに関しても考える機会が増えました。これらのプロセスは就職活動にも通じるものであると思うので、ぜひ留学にチャレンジしてほしいと思います。	
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。	
学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 16 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
International Relations	国際政治
科目設置学部・研究科	人文科学
履修期間	2013 年 9 月～2014 年 4 月
単位数	6
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Prof. Roger Epp and Tom Keating
授業内容	国際関係に関して。テロリズム、UN、国際法などに関して。
試験・課題など	2 回の中間レポート、2 回の期末テスト、毎週のディスカッションにより成績が決定されます。
感想を自由記入	専門でない分野を履修したため、ディスカッションなどの準備は欠かしませんでした。また授業時間に企業の人による多くの講習会が行われたためよい刺激になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Understanding East Asia		東アジア研究	
科目設置学部・研究科	人文科学		
履修期間	2013年9月~12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Zeb Raft		
授業内容	中国、韓国、日本に関する歴史について		
試験・課題など	毎週のディスカッション、中間レポート、期末試験により評価されます。		
感想を自由記入	中間レポートは、生徒がほかの生徒を評価するという形式であったため、日本人以外の生徒の日本やアジアに関する考えが理解できました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intermediate Microeconomics		中級ミクロ経済学	
科目設置学部・研究科	人文科学		
履修期間	2013年9月~12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Iryna Nekhayevska		
授業内容	生産、消費、競争市場、独占市場に関して。		
試験・課題など	3つの試験とクイズにより成績が決定されます。		
感想を自由記入	経済学の授業に関しては数字を多く使うため、語学のディスアドバンテージが少なかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Social Problems		社会問題	
科目設置学部・研究科	人文科学		
履修期間	2013年9月~12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Kenneth Caine		
授業内容	人種差別、貧困、ジェンダー問題などのカナダでの社会問題をヒップホップや R&B などの歌詞を通して研究する形式です。		
試験・課題など	中間試験、期末試験、2つのレポートにより成績が決定します。		
感想を自由記入	人種問題の授業をカナダという多民族国家で履修できたことは、様々なバックグラウンドの生徒の意見を聞けるという観点から意味があることだと考えました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Economics		国際経済学	
科目設置学部・研究科	人文科学		
履修期間	2014年1月～4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Constance Smith		
授業内容	貿易が世界的に有益であることがミクロ経済学の理論をもとに説明され、その貿易理論とNAFTAやTPPなどの事象とのつながりを考察しました。		
試験・課題など	2つの中間試験と期末試験により成績が決定されました。		
感想を自由記入	カナダということもあり、ケーススタディーではNAFTAがよく例に挙げられましたが、度々、日本について触れられる機会があり、日本の世界における経済的地位といったものが確認できたと考えます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Money and Banking		金融論	
科目設置学部・研究科	人文科学		
履修期間	2014年1月～4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Junaid Jahangir		
授業内容	現在価値や利益率の計算などの基礎知識を確認し、それらの知識を世界大恐慌と2007年頃に発生した金融危機に応用しました。		
試験・課題など	中間テストと期末テストにより成績が決定されました。		
感想を自由記入	授業ではパワーポイントを利用せず、また板書もないスタイルでした。そのかわりに教授と生徒とのやり取りが多く、日本の大学にありがちな一方的な講義ではなく、知識の定着も促進されたと感じています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intermediate Macroeconomics		中級マクロ経済学	
科目設置学部・研究科	人文科学		
履修期間	2014年1月～4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ビデオ講義、ディスカッション		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Andrew Wong		
授業内容	GDP、失業率、為替相場などの経済指標を学び、それらの知識をケーススタディを通してアウトプットしました。		
試験・課題など	2つの中間テストと期末テストにより成績が決定されました。		
感想を自由記入	授業講義の動画はすべてネットで視聴可能であり、講義がない代わりにディスカッションが行われました。講義は何度でも視聴可能なため、聞き逃しの心配もありません。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2013年 1月～3月	留学決定、留学関連書類の準備、英語勉強
4月～7月	ビザ発行、留学関連書類の準備、英語勉強、就活関連の書籍購入(留学先に持っていくため)
8月～9月	留学出発、UofAplus という留学生向けの講座に参加、携帯電話購入
10月～12月	中間試験、期末試験
2014年 1月～3月	ニューヨークとボストンへの旅行、中間試験
4月～7月	期末試験、就活準備
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	ディスカッションに参加したいという思いから、交換留学を決めました。以前、短期留学をした際のディスカッションの授業で、現地学生の言っていることすら理解できず落ちこぼれになったことから、学生中にリベンジしたいと思い、ディスカッションの機会が比較的多い長期留学に行こうと考えました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前から留学先での生活をイメージする必要があるかと考えます。そのためにも英語力強化は不可欠で、特に単語を増やす必要があると思います。また、留学先では自分が主体的に行動することで、様々な機会を得ることができます。そのため少々図々しいぐらい行動的になるべきかなと考えます。 また 3,4 次に留学する方々は、ぜひ業界研究の本を留学先へ持って行くことをおすすめします。空いて時間に読むだけで十分ですし、国内で就活を始めている学生たちとのギャップを埋めるためにも、就活関連書籍を持っていくことは有用だと考えます。
この留学先を選んだ理由	カナダで知名度が高く、世界的にもある程度有名な大学だからという考えがアルバータ大学を選んだ理由でした。実際にアルバータに行ってみると、広大な自然があり、穀物、資源エネルギーに関する情報が多く耳に入り、それがきっかけで現在は穀物などを取引できる会社を志望しています。
大学・学生の雰囲気	学生はかなりストイックな人が多くて、授業の合間にジムに通っている学生も多く、健康的なイメージがありました。また中には授業をスキップしてジムに通い、筋トレしているムキムキな人もいます。一般的な学生はいつも課題などに追われていて、平日は勉強をして金曜日の夜に遊びに行き、ストレスを解消しています。
寮の雰囲気	私は Lister Centre というアルバータ大学最大規模の学生寮に滞りました。この寮にはカナダ人が多く、私のフロアの 8 割はカナダ人でした。またドッジボールなどの寮のイベントがかなり多く、活発な寮というイメージがあります。しかし、寮のイベントで問題が起こったため、しばらくイベント(ドッジボールを除く)は自粛される可能性があります。寮を検討する際には、アルバータ大学に在籍している人などのブログを見つけ、確認する必要があります。
交友関係	さまざまな人との交流の機会を自ら増やし、「他の人の意見を傾聴する」ことを心がけました。また、初対面の人たちとの集まりでは、自分が質問をして相手に多く話してもらい、他の参加者との共通点を見つけ、参加者同士を結びつけることを考えていました。初対面同士でも気まずくならない集まりにするには、参加者同士の共通点を見つけることが必要だと考えるからです。
学習内容・勉強について	多くの経済の授業を履修しました。経済の授業の履修者の半分以上がアジア出身の学生で驚かされました。また経済の授業はディスカッションが少ないため、ディスカッションをしたい方は政治の授業などの履修をおすすめします。
課題・試験について	試験は毎日ある程度勉強しておけば、心配ないと思います。またしっかり準備すれば現地学生とも互角以上に渡り合えると思うので、留学生だからと言いつつせず、ぜひクラスで 1 位を取る勢いで勉強に臨んでみてください。
大学外の活動について	まず、サッカーのサークルが大学になかったため、友人とフェイスブックを通して非公式のサッカークラブを作り、大会にも参加しました。現在は 40 人以上がそのチームにいます。またネイティブとディスカッションをしたいという考えから、会員の 9 割以上がカナダ人の Toastmasters というビジネスクラブに参加して、毎週、即興のスピーチを行いました。
ある平日のスケジュール	7 時:起床、9 時~12 時:授業、13 時~14 時:昼食休憩、14 時~15 時:授業、16 時~17 時:ジム、18 時~20 時:夕食、20 時~:勉強
ある休日のスケジュール	7 時:起床、9 時~12 時:勉強、13 時~15 時:サッカー、16 時~20 時:夕食など、20 時~:勉強
留学を志す人へ	カナダの学生は 4 年間で卒業のところを 5~6 年かけている人も多くいます。彼ら彼女らはインターンをしたり、留年して自ら勉強を続けています。そういう人を見ていると、あまりキャリア形成を焦る必要はないと感じることが多々ありました。だから留学で短期的に就活が不利になってしまっても、目標が明確なら留学にチャレンジするのもいいと考えます。